

- 日時 令和3年12月16日(木) 14:00~15:30
- 場所 佐賀市役所 庁議室
- 参加者 荒牧会長、香月副会長、有馬委員、植松委員、江口委員、江頭委員、江副委員、川崎委員、木下委員、柴戸委員、白井委員、富吉委員、野田委員、馬場委員、福島委員、前川委員（五十音順）
- 議題
  - 前回会議振り返り、事業進捗状況の報告
  - 南口交流広場の整備について(水景施設、大屋根、植栽帯)
  - 南口交流広場の管理活用について
  - 県道佐賀停車場線の再整備について

## ■南口交流広場の整備(水景施設、大屋根、植栽帯)



- |               |                     |
|---------------|---------------------|
| ①広くフラットな中央広場  | →イベント等がやりやすい仕様      |
| ②大屋根の整備       | →雨の日でもイベント等の実施が可能   |
| ③植栽、ベンチ等を再配置  | →休憩場所の確保（大屋根を見る形で）  |
| ④南側に構造物を設置しない | →県道部につなぐ場所を開放的に     |
| ⑤乗入れタイプの舗装    | →キッチンカー等が広範囲で乗入れ可能に |

## 水景施設について

- ◎整備方針
  - 西側植栽帯横のベンチ付近に**ミスト発生装置**を整備
  - 夏場に「水を使ったイベント」が開催しやすいよう、**複数箇所に水栓を整備**



## 大屋根の整備について

- ◎膜材による大屋根を整備
  - 通常の屋根材より軽量で**耐震性に優れている**。
  - 耐久性に優れている**。(30年以上の耐久性実績有り)
  - 屋間は**屋根下の明るさが確保**できる。
  - 柔らかみのあるデザインとなるよう**木ルーバーを採用**



## 植栽帯及び樹種について

- ◎芝生ではなく**管理が容易な地被類を整備する**。
- ◎植栽帯を立ち上げ、**人が入らない仕様とする**。

## ■南口交流広場の管理活用

### サウンディング型市場調査を実施

交流広場の管理について興味や意欲のある事業者と個別対話を実施し、情報収集や課題抽出を行う。

交流広場の活用・運営の在り方を検討

## ■県道佐賀停車場線の再整備

### 社会実験「佐賀駅南テラスチャレンジ」の概要

【期間】令和3年10月20日～10月31日(12日間)

- 【内容】片側1車線の交通規制(4車線→2車線)
- ・道路上へのキッチンカー出店、滞留空間設置
  - ・沿道テナントと連携した軒先への出店 など

- 【結果】実験に対する利用者の反応は好感触だった。
- ・店舗の出店ニーズを確認でき、継続を望む声が多かった。
  - ・車線減少について支障がないことを確認するとともに、歩行空間における今後の検討課題を抽出することができた。



整備後の幅員構成イメージ



▲社会実験の様子

## ■意見交換(委員意見) ※一部抜粋

### 【駅前広場】

- 夜間照明を含めて、木ルーバーを活かす**よう考えてほしい。
- ➔木ルーバーの上から屋根に向けて照明を当て、**木ルーバーを間接的に浮かび上がらせる方法を検討**している。

### 【県道佐賀停車場線の再整備】

- 資料では**中央分離帯のクスノキ**がないが、どういう方向で考えているか。
- ➔東側の歩道を広げるには**クスノキは外さざるを得ない**。これから**クスノキを活用したベンチの製作などの利活用**を考えていきたい。また、歩道の樹木については、適切な樹種と配置をこれから検討していきたい。

### 【検討会議のあり方】

- この検討会は今回が最終回なのか。
- ➔最終回ではない。駅前広場の整備については概ね終わったが、**広場南側の県道についても本検討会でご意見をいただいきたい**。